



研究所だより



桜の開花が待ち遠しい季節となりました。皆様方におかれましては年度末の慌ただしい時期となり、ご多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。

さて、教育研究所では、本年度第3回目の中土佐検定を終え、採点、集計を行い、間違いランキングを作成して各学校に配付しました。年度末の各教科の復習に間違いランキングも活用していただき、更に基礎学力の習熟に役立てて欲しいと考えています。

この基礎学力とは、「読み、書き、計算」など、学校において児童生徒が学習する中で、情報を読み取ったり、処理したり、表現するための基になる能力のことです。人とのコミュニケーションをとる時や読書、新聞を読んだりする時も必要になります。小学校低学年で学習する算数の九九は、ほぼ完璧に式と答えが言えるまで何度も何度も児童に繰り返し学習させます。日常生活の中でも九九はよく使われる計算ですから、一度覚えると何歳になってもすぐに答えられるようになっています。この九九の計算ができないと小中学校での算数、数学の授業は、かなり厳しいものとなります。「読み、書き、計算」の学習の基盤となる力も、九九と同様に繰り返し学習し、自分のものにすることで、将来、更に発展的な学習や夢を叶えることに繋がります。中土佐検定テキストも繰り返し学習し、脳を鍛え、基礎学力の習熟のために役立てて欲しいものです。

中土佐検定の実施について、教育研究所としても学校への趣旨の徹底を図り、課題を検証し、改善に努めたいと考えています。来年度もすべての児童生徒が検定に挑戦し、合格できて、少しでも「自信」や「やる気」に繋がることを願っています。この一年間、各学校の検定担当者の先生をはじめ、教職員の皆様には、中土佐検定への取組及び実施へのご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

教育研究所 所長 古味 秀夫

目 次

1 所長より	P 1
2 研究所の取組・中土佐検定結果	P 2 ~ P 3
3 間違いランキング問題確認・第2回教育研究所運営委員会報告	P 4
4 輝く子どもたち	P 5
5 研究員の取り組み	P 6

本年度の研究所の主な取組

- ① 中土佐検定の実施（小学校算数 3 回・中学校数学と英語 3 回 中学校漢字 2 回）
- ② 中土佐検定テキスト修正（中学校数学・英語・漢字）
- ③ 中土佐検定の結果分析と間違いランキングの作成
- ④ 中土佐検定の取組支援（個別支援指導）
- ⑤ 教科担任制による授業の質の向上と学習内容の定着を目指した授業づくりの研究（研究員による教科研究テーマ）
- ⑥ 各種学力調査の結果分析と中土佐検定の関連調査
- ⑦ 学校における研究授業への参加
- ⑧ 情報発信（町の広報掲載，研究所だより発行，ホームページ更新）
- ⑨ 研修会への参加（高知県教育研究所大会，研究所中西部地区連絡協議会研修等）

令和4年度 小学校中土佐検定結果

◎第3回算数（小学校） 2月8日実施

学年	1年生 (16級)	2年生 (13級)	3年生 (10級)	4年生 (7級)	5年生 (4級)	6年生 (1級)	町全体
受検者数	36	30	34	28	31	42	201
平均点	95.8	96.6	93.1	82.5	86.3	84.0	89.7
合格率(%)	97	100	97	100	84	100	96.5

※平均点は本試験のもので、合格率は再試験，再々試験を含めてのもので、

年間を通じて、小学生はほぼ全員が最終的に合格し、算数の基礎学力を身に付けていると思われます。間違いランキングに入った問題も次年度は改善され、正答率が高くなっています。

第2回中土佐検定小学校担当者会において、各小学校の検定への取組方法を聞いてみると、どの学校も「何回もプレテストに取り組む」「テキストに取り組んで基礎学力の定着を図る」「計算の反復練習ができた」という意見がありました。このような地道な取り組みの積み重ねが結果に繋がっていると思います。

間違った問題は、やり方をすぐに消さずに、誤りの箇所を確認し、もう一度挑戦してみることで、間違いは少なくなります。失敗は新たな学びに結び付くチャンスと捉え、これからも全員合格を目指して引き続きよろしくをお願いします。

令和4年度 中学校中土佐検定結果

◎第3回**数学**（中学校） 1月24日実施

学年	1年生 (7級)	2年生 (4級)	3年生 (1級)	町全体
受検者数	33	31	22	86
平均点	75.6	88.0	78.8	80.8
合格率(%)	79	94	82	85

◎第3回**英語**（中学校） 1月24日実施

学年	1年生 (7級)	2年生 (4級)	3年生 (1級)	町全体
受検者数	33	31	22	86
平均点	83.1	88.0	85.5	85.5
合格率(%)	91	97	91	93

※平均点は本試験のものです。合格率は再試験，再々試験を含めてのものです。

中土佐検定最終合格率の第1回目が数学81%，英語96%，第2回目が数学85%，英語92%，第3回目が数学85%，英語93%とほぼ同じくらいの数値で推移しています。

この中土佐検定に向けての取組は，授業で学習したことを定着させるための一つの方法です。中土佐検定結果は授業改善を行うためのデータとしても活用できます。授業の中で生徒が理解できていない箇所や定着の不十分な箇所が検定結果の数値として表れます。

また，中土佐検定の結果は，学校での定期試験や実力試験の結果と大変関係が深いと考えられます。このように中土佐検定を行うことで授業改善，定着状況の把握等もできます。

この中土佐検定を通じて，生徒の学習意欲が高まり，家庭でも主体的に学習する習慣が身に付くと更に効果が上がると考えられます。そのためには，合格して当たり前ではなく，検定に向けて取り組んだ努力と成果をしっかり認め，学校全体で意欲的に学習に取り組む習慣を身に付けて欲しいと思っています。

小中学校の検定担当の先生方には，大変お忙しい中，担当者会へ出席していただき，ありがとうございました。来年度も中土佐検定へのご協力をよろしくお願いいたします。

間違いランキングの問題確認

第3回小学校中土佐検定において、誤答率の改善された問題は下記のとおりです。

計算問題では、授業での指導方法改善や間違いランキング資料の活用等、検定前の事前指導や補充指導を行い、やり方が定着してきたのだと考えられます。かなり誤答率が改善された問題もあり、各学校で繰り返し練習し、解き方が身に付けている成果ではないかと思っています。

学 年	問 題	R3 誤答率	R4 誤答率
小学校 4年	計算をしましょう。 $36 \div 2 \times 3$ 解答 54	75%	15%
小学校 5年	次の計算をしましょう。 $\frac{1}{4} - \frac{7}{52}$ 解答 $\frac{3}{26}$	42%	19%
小学校 5年	次の計算をしましょう。 $\frac{1}{3} + 0.75$ 解答 $\frac{13}{12} \left(1\frac{1}{12}\right)$	26%	16%
小学校 6年	次の計算をしましょう。 $\frac{2}{5} \div 0.4 \times 0.25$ 解答 $\frac{1}{4}$	28%	5%
小学校 6年	次の計算をしましょう。 $1\frac{3}{4} + \frac{5}{6}$ 解答 $\frac{31}{12} \left(2\frac{7}{12}\right)$	22%	11%

第2回教育研究所運営委員会報告

3月2日に本年度第2回教育研究所運営委員会を開催しました。地域の有識者、

学校関係者、保護者代表の皆様より、ご意見をいただき、本年度の研究所の取組内容等へのご意見をいただきました。一部抜粋ですが、下記のようなご意見がありましたので報告します。

- 分数の取組で、基本をきっちり教えることが大切だと思う。リンゴを分ける具体例とかで。
 - 四則計算は積み上げが大切で、中土佐検定で積み上げて計算ができています。
 - 国語の「ことばのきまり」テキストも学校で活用している。この検定も考えてみてはどうか。
 - 研究員の体育に関する研究で、この研究をどのように活用しているのか。
 - 大野見小学校だけでなく、久礼小学校も体力づくりの研究をして欲しい。
 - 部活動に限られ、自分にあった部活動がなく、運動しないまま大人になる心配がある。
- 委員の皆様からの貴重なご意見、ありがとうございました。来年度の運営に活かしてまいります。

輝く子どもたち

本年度も各学校を訪問させていただき、子どもたちが輝いている授業を観ることができました。授業者の先生方には、参観させていただき、ありがとうございました。

☆11月30日（水） 大野見中学校社会科授業改善プラン 授業者 森 健太郎 教諭
2年 社会科 単元名「江戸時代」

日本の開国について、どうだったかを考える授業で、生徒による話し合いの時間が多く設定され、互いの意見交換がよくできた授業展開でした。また、生徒もしっかりした考えをもって、根拠を明確にした発言ができていました。授業者からの切り返しや生徒間での質問もあって、内容を深めて考えることができていました。少人数の生徒でしたが、色々な考えに触れる機会となった授業で、とてもよかったと思います。

☆11月30日（水） 久礼中学校社会科授業改善プラン 授業者 植松 晃平 教諭
3年 社会科 単元名「生産と労働」

株式会社を理解し、応援してもらえる会社について考える授業展開でした。専門用語が多く、理解が難しいのではないかと考えたけど、生徒の関心は高く、活発な授業となっていました。特に、会社への投資を考える場面では、リスクとリターンをしっかりと考えて判断できていたと思います。自分の会社を立ち上げる場面では、身近な生活と関連して考えることができていました。金融教育の一環としてとても大切な授業だと思いました。



☆1月25日（水） 大野見中学校全校道徳研究授業 授業者 田村 加恋 教諭
1・2・3年 道徳 主題名「家族愛」 教材名 家族写真（ふるさとの志）

道徳授業を大切にして、熱心に教材研究を行って授業に臨んでいる様子がよくわかる授業展開でした。また全校生徒による授業で色々な価値観に基づく判断も発言され、よかったと思います。生徒が自分の考えをきちんと発言できる人間関係、学校環境ができていく集団に育っているところが素晴らしく感じました。



☆久礼・上ノ加江地区保小中ふれあいコンサート

2月6日に久礼中学校吹奏楽部によるふれあいコンサートが開催されました。久礼・上ノ加江地区の保育園児、小学生が参加して、楽しい曲を聴き、心が弾む温かいふれあい交流を図ることができました。



教科担任制による授業の質の向上と学習内容の定着を目指した授業づくりの研究

研究員 福中 賢一

1学期に、中土佐町内すべての小学校の児童を対象に体育授業に関するアンケートを実施しました。アンケートは5つの質問で、内容は以下の通りです。

- ① 体育は楽しいですか？
- ② これから大人になっていくうえで、体育の学習内容は必要だと思いますか？
- ③ じゅぎょういがいで体を動かしますか？
- ④ もっと運動ができるようになりたいですか？
- ⑤ どのようにすると、うまくできるようになるかを考えますか？

5:とても当てはまる
4:少し当てはまる
3:どちらでもない
2:あまり当てはまらない
1:当てはまらない

【研究するテーマの設定】

1年生から6年生にかけて、アンケート全体の結果〔図1〕が少しずつ下がってきているのが確認できます。この結果に大きく影響を与えているのが、アンケート⑤の結果です。アンケート⑤は、学習で行った内容について、主体的に取り組み、自ら考えているかをみる項目です。この項目が、1学年から5年生にかけて大きく下がっています。〔図2〕

そこで、児童が意欲的に授業に参加し、自ら考える授業づくりを研究のテーマにしました。

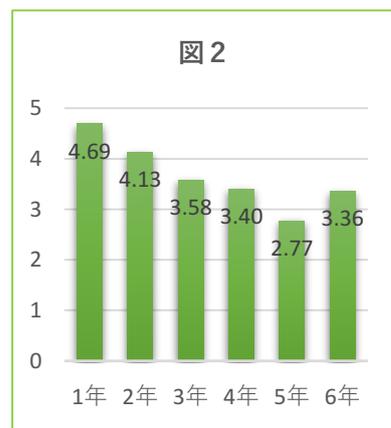
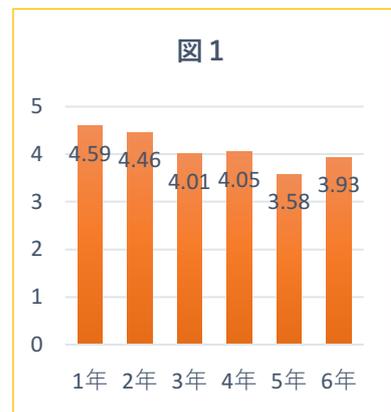
【大野見小学校との共同研究】

《児童が意欲的に参加する授業とは》

日本体育大学の白旗先生の授業研修会にて白旗先生は「小学校の体育で児童の意欲を上げるためには、児童が楽しいと感じる授業をいかに計画するかが大切である。」と言っていました。

そこで、私たちは足を使ったゴール型の単元では、足でボールを操作することを苦手と感じている児童にも楽しく授業に取り組めるように授業を計画しました。ペアで協力して、「目標のコーンを回る」と「シューティングターゲット（地面に置いた小さいカラーコーン）をたおす」作戦をたて、チャレンジするように計画しました。また、ペアを変えて複数回行うようにしました。

次に、体づくり運動の単元では、運動を苦手と感じている児童にも楽しく授業に取り組めるように授業を計画しました。様々な教具を利用して2人で行うことができる運動を考え、考えた運動を全体で共有し、チャレンジするように計画しました。また、ペアを変えて複数回行うようにしました。



☆足を使ったゴール型の授業風景☆



☆体づくり運動の授業風景☆



《単元を通して行った運動（苦手なことにも楽しくチャレンジ）》

☆足を使ったゴール型の授業風景☆



☆体づくり運動の授業風景☆



【研究の成果】

足を使ったゴール型授業：「楽しくできましたか」「考えることはできましたか」自己評価を平均した結果は、【楽しい】4.7【考える】5.0でした。

体づくり運動授業：「楽しくできましたか」「考えることはできましたか」自己評価を平均した結果は、【楽しい】5.0【考える】5.0でした。

どちらの授業も、【楽しい】【考える】の数値が改善し、児童が意欲的に授業に参加し、自ら考える授業が実施できました。